

ご注意

安全にそして末永くご使用いただくために、以下の指示を必ずお守りください。

△ 注意

演奏の前に

手をあらい、口をきれいにすすぎましょう。



上を向いて演奏しないで

上を向いて演奏しないでください。万一リードが折れたとき、口の中に入る恐れがあります。



異物を入れないで

吹口やすき間に異物を入れないでください。故障・破損の原因になります。



シンナーやベンジンでふかないで

シンナーやベンジンなどでハーモニカをふかないでください。変形・破損の原因になります。



リードは折れることがあります。

弊社リードは一般的なハーモニカとして十分な耐久性を備えておりますが、永久的に使用できるものではありません。リードは振動による疲労によって音程が狂ったり折れることがあります。使用・保存状態によってこの耐久時間もまちまちです。リードが折れる場合、前兆として音程が大きく下がります。この場合直ちに演奏を中止してください。そのまま使用を続けると折れたリードを口に吸い込む恐れがあります。

ハーモニカを振り回さないで

ハーモニカを振り回さないでください。顔などに当たるとケガをする恐れがあります。



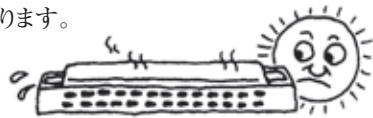
カバーを強く押さないで

カバーを強く押したり、かんだりしないでください。変形・破損の原因になります。また、変形してできたすき間に唇や舌などが入ると思わぬケガをする恐れがあります。



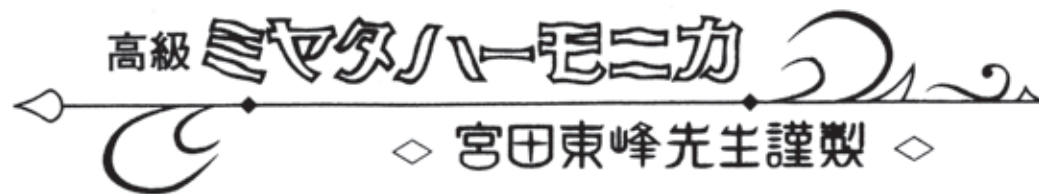
熱くなる場所はさけて

車の中やストーブのすぐ近く、日ざしの強いところにおかないでください。変形・破損の原因になります。



演奏のあとは

穴を下に向けて軽く振り、たまった水を抜きましょう。やわらかい布できれいにふきましょ。



複音ハーモニカはトレモロのついた美しい響を持つため別名トレモロ・ハーモニカとも呼びます。
上下2列の同音のリードが微妙なピッチで調律され柔らかい音を作り出します。

① 吹きやすい、くわえやすい

＜高級・ミヤタハーモニカ＞は演奏者のことを考え、楽な吹き口の移動ができるよう、又、くわえやすいように設計してあります。

② 安定した音程

複音ハーモニカはいろいろな奏法で演奏ができます。例えば、マンドリン奏法、バイオリン奏法、ベース奏法等。これらの奏法も安定した音程をもつ（高級・ミヤタハーモニカ）の美しい音があってはじめて生きてきます。

③ 修理や交換が簡単

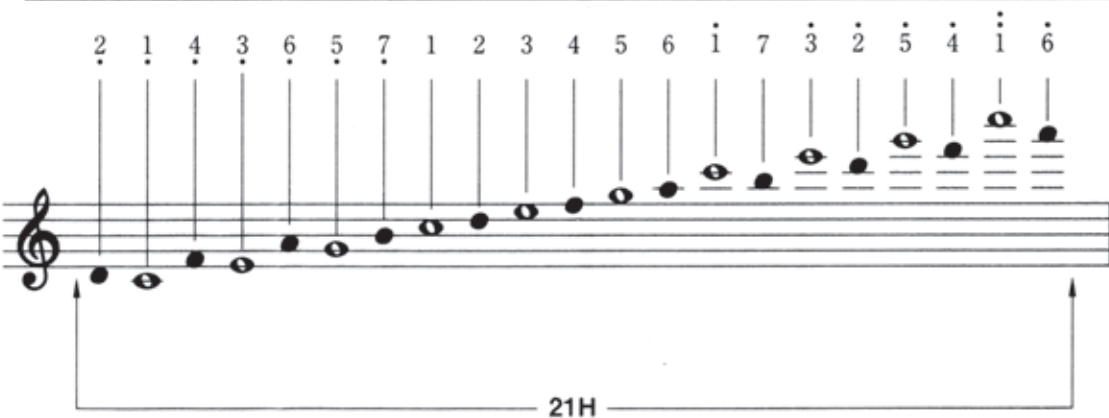
＜高級・ミヤタハーモニカ＞の修理や部品の交換は、全国の鈴木楽器営業所で承ります。

複音ハーモニカの音色は、演奏する人の心をなごませ聞く人の心を魅了します。どうぞ、末永くご愛用ください。

■音配列（C調）

○=吹音 ●=吸音

	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	
①低	レ	ド	ファ	ミ	ラ	ソ	シ	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	ド	シ	ミ	レ	ソ	ファ	ド	ラ	②高



ミヤタハーモニカは リード楽器づくり一筋の鈴木楽器で製造

楽器の都・浜松で「鈴木萬司」が自分で満足できるハーモニカを造ることを夢見て、鈴木楽器製作所は昭和27年に設立された。

鈴木は、少年時代よりハーモニカやホルネットを得意とし、特にハーモニカはバンドに加わり演奏していた。当時を振り返って鈴木は“とにかく金銭を考えずに一番いいハーモニカを造ってみたかった”と会社設立の動機を語っている。

以来、リード楽器づくり一筋の人生のスタートとなる。この間、わが国の鍵盤ハーモニカ（メロディオン）を最初に開発し、音楽教育の発展に貢献する。



株式会社 鈴木楽器製作所
〒430-0852 浜松市中区領家 2-25-12 TEL (053) 461-2325 (代)

<http://www.suzuki-music.co.jp/>
インターネットでスズキホームページをご覧ください。